佐賀県は知的財産を

守り育て生み出していく！

知財経営編

株式会社 西村鐵工所
取締役
泉 章さん

技術部設計課 課長補佐
後藤 武志さん

知財情報を活用し、経営戦略と研究開発の力に

「CDドライヤー」をはじめとする特許技術

〈きっかけ〉独自技術の更なる飛躍を目指して

産業装置メーカーの西村鐵工所は、「世の中に存在しない、でも必要なもの」を追求し、多くのオリジナル製品を手掛けています。様々な液体材料を粉状にする液体乾燥機「CDドライヤー」や粒体や粉体を垂直に運ぶ垂直搬送装置「I-Bコンベア」をはじめ、国内特許23件、海外商標6件、国内商標3件を取得し、その技術力を証明しています。

これまで手薄だったマーケティングや新しい角度からの研究開発を強化するため、INPIT佐賀県知財総合支援窓口を通じて、「IPランドスケープ支援事業」に申請。佐賀県で初めて採択され、自社の独自技術を更に有効的に活用するための新たな一歩を踏み出しました。

世の中に必要なものを生み出すべく、少数精鋭の技術者が一丸となって挑戦しています

〈進展〉知財情報活用で導く新たな戦略

「IPランドスケープ」とは、膨大な他社の特許情報を分析し、新規市場探索、製品の差別化、共同研究先の発見など、経営戦略や研究開発に活用することです。

同支援事業に採択されれば、費用負担なく調査から活用まで伴走支援を受けることができます。

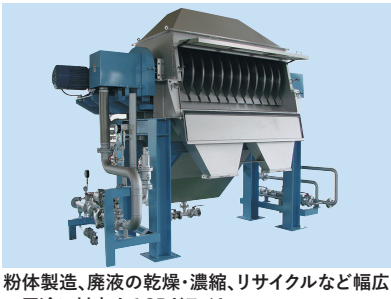
取締役の泉さんは、「当社が誇るオンリーワン技術の強みや競合状況を新しい切り口で把握することができ、業界や市場動向を反映したマーケティング支援を受けられた点は、当社にとって非常に画期的でした。」と語ります。

応募に際して、自社の特色、経営課題、今後の方向性などを整理するため、「経営デザインシート」を作成。支援担当者への相談と各部署との対話を通して形にし、自社の強み弱みを改めて見つめ直す機会になりました。

〈展望〉IPランドスケープは中小企業こそ有効

西村鐵工所は、今後、「IPランドスケープ支援事業」の成果を基に、自社の独自技術の進化・発展に注力する予定です。来年度は九州経済産業局の「知財ハンズオン支援事業」に申込み、知財を含む企業経営の専門家の助言を受けながら、知財経営の実践に取組みます。

「地方メーカーが資金面の課題を乗り越え、知財経営に取り組むうえで、IPランドスケープ支援事業は非常に有効な手段です。知財情報の分析・活用を通じて、技術的・経営的課題を解決し、より優れた製品開発に繋げることで、お客様への貢献と社員の幸せを実現していきます。」と泉さんは抱負を語ります。



粉体製造、廃液の乾燥・濃縮、リサイクルなど幅広い用途に対応するCDドライヤー

INPIT佐賀県知財総合支援窓口
支援担当者の皆さん

IPランドスケープ支援事業を経営戦略に活用しておられる事例です。
これから活用してみたい企業様はいつでも気軽にご相談ください。

知的財産に関する悩みや疑問はこちらまで

相談無料　秘密厳守

INPIT佐賀県知財総合支援窓口

☎0952-41-9322

営業時間：平日9:00～12:00 13:00～17:00
（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

佐賀県内の相談・支援事例をご覧いただけます。

「佐賀県知的財産を大切にし、みんなで守り、育て、新たに生み出す条例」についてはコチラ。

佐賀県

佐賀県 知的財産　検索